

## 年頭所感

沖縄県医師会 会長 田名 毅



医師会会員の皆様、本年も宜しくお願い致します。年頭にあたり、就任後のこれまでの取り組みを振り返り、今年の医師会活動の方針を考えてみたいと思います。

コロナ禍により私たちは多くのことを経験してきました。そして、コロナ禍後にこれまで潜在していた問題が表出していると考えています。そのような背景をふまえ、現時点で私が問題と考えていること、それに対する取り組みを列挙してみます。

### (1) 今後の流行感染症への対応

COVID-19 が5類に移行し、通常診療で対応するという国の方針になった後にも沖縄県内では同疾患が流行し、医療・介護現場に影響を及ぼす事態になりました。しかし、沖縄県はそれに対する警報発令、医療現場への協力等の対応は行いませんでした。予算がなく、人員配置が限られている中でやむをえないこととはいえ、沖縄県とカウンターパートとして対峙する沖縄県医師会としては次の流行に備えた対応を考えました。そのために、県内の感染症専門家に集まってもらい、感染症流行アラート発出のタイミングを検討してもらいました。これは県民に警報を発出する前に、まずは医療・介護現場に注意報を発出することで、感染症を広めない対策を早めにとってもらえるようにする取り組みです。その後の感染の広がり後の対応も検討されており、この情報を沖縄県行政と共有することにより現場の窮状に合わせた必要な対策を早めにとっていけるようになることが期待されます。新任の仲村尚司理事がこの取り組みの中心を担ってくれています。

### (2) 小児救急医療への取り組み

上述の COVID-19 の流行期に県立病院の救急医療、特に小児救急医療がひっ迫しました。今回、沖縄県小児保健協会の副会長の當間隆也先生が理事になりましたので、早速當間先生が中心になって小児救急医療に関わる先生方と意見、情報交換を開始しています。また、従来から行っている #8000 の普及啓発に加えて、協会が作成している「小児救急ハンドブック」をアプリで簡便に見られるようにし、これを子供がいる家庭に広く周知する取り組みも合わせて開始しています。これにより小児の軽症患者の救急外来受診数が減少することを期待しています。

### (3) 病院看護師不足の対策

COVID-19 の影響か、急性期を担う医療機関の看護師が減少しています。

しかし、沖縄県は看護学校で養成されている看護師数は現時点で充足されているという認識のようです。このギャップの原因を探るために、医師会の主催で沖縄県、看護協会、看護学校等看護師養成に関わる方々に集ってもらい会議を持ちました。それぞれの立場で取り組みを共有し、立場の違いを理解する有用な情報交換の場になったようです。医師会としては病院看護師を確保しなければ、病床があっても休眠病床にせざるを得ないケースが増えていると認識しており、その現状を再調査した上で関連団体とどのような取り組みが出来るか検討しているところです。この取り組みは稲富仁先生、久貝忠男先生に取り組んでもらっています。

#### (4) 医療経営状況調査

COVID-19 後に急性期病院を中心に外来受診患者・入院患者が減少しているという情報が医師会に入っています。これが医療機関受診を控える人が増えているのか、もしくは COVID-19 でマスクされていただけですでに人口構成に変化があり、コロナ禍後に表在化しただけなのか情報を集め検討する必要があります。この影響や物価高騰が重なり、多くの医療機関が赤字決算になっているという情報も入っています。現在、全医療機関の経営状況を調査中で、集計結果を取りまとめているところです。そのデータをもとに、急性期病院、慢性期病院、開業医等の医療形態ごとの会議を開催する予定です。病院長は勿論ですが、事務長等の経営実務にあたっている方々が参加し、意見交換する場を作ります。この件は平安副会長、稲富仁理事に対応してもらっています。

#### (5) 医業継承支援

団塊の世代の先生方の閉院が増えていくと懸念されるのが、地域医療の維持です。

沖縄県医師会では県内で開業を検討している

先生方に開業にあたり参考になる情報をホームページから閲覧出来るようにしました。県医師会に問い合わせがあった際に、希望する地域の地区医師会に繋げる取り組みを検討しています。各地区医師会において医業を継承する医師を探している医療機関を事前に把握してもらい、開業を希望する先生方とのマッチングが出来ればと考えています。この取り組みは照屋勉常任理事に対応してもらっています。

今回紹介したのは沖縄県医師会の取り組みの一部で、今回紹介していない各種事業にも各担当理事が熱心に取り組んでいます。関心を寄せただけであればと思います。

私自身は今期から日本医師会地域医療委員会に入りました。全国の先生方と意見、情報交換をして、沖縄の取り組みに参考になる情報を持ち帰り、医師会活動に活かしていきたいと考えています。会員の皆様、お気づきの点がありましたら、医師会事務局までご一報ください。本年も沖縄県医師会の活動にご理解、ご協力を何卒宜しくお願い致します。

